



☆新入生児童・保護者入学説明会を開催

1月29日(木)に次年度入学生を対象にした入学説明会が行われました。

入学予定の6年生たちは、6校時授業(1年生:数学、2年生:国語、3年生:美術)を参観し、先輩が真剣に学習している様子を見て、気持ちを引き締めているようでした。中学校での学習体制



や生徒会活動、決まり事などの説明を受けて、中学校での生活の仕方について確認していました。また保護者の皆様には説明会の前段に情報モラル講習会を開催し、県警察スクールサポーターの小野寺さんから、中学校期のSNSとの付き合い方について保護者としてどう対応したらよいのか、ということについてお話をいただきました。その後、入学説明会を開催し、熱心に耳を傾けていただきました。

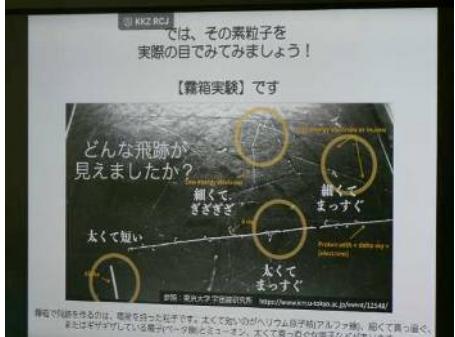


☆ILC授業で、未来の岩手を考える

1月21日(水)に2年生を対象にILC授業が開催されました。講師は岩手大学 藤崎聰美先生においていただき、熱心に教えていただきました。

ILCとは International Linear Collider(国際直線型衝突加速器)のことであり、「電子・陽電子の衝突実験から宇宙の起源を探ることができます」と期待されていることです。

授業の中で、日常空間で飛んでいる α 線やベータ線、陽電子などを簡易観測器具で一人ひとり観察することができました。今回ほぼ全員がいろいろな光線を観察することができ、藤崎先生も感激しておりました。岩手県南-北上高地付近は世界的にも最適の立地・地質条件にあり、ILC事業が誘致決定となった場合、まさに室根地域の地下にもILCが設置されるかもしれないということ、世界中から多くの研究者が集まり、関連して多くの産業が発展する可能性が大きいことにも触れていただきました。今の中学生が社会の担い手の中心となる頃の話ですが、大変興味深い授業でした。



☆真冬の避難訓練(予告なし)実施

先週1月23日(金)に今年度3回目となる避難訓練を実施しました。今回は「予告なし」で、昼休み、1階給食配膳室(職員室前)で火災が発生→体育館に避難、という想定です。命を守る行動(情報を把握し、正しい避難ルートが取れること、落ち着いて避難行動ができること)が取れるかが訓練のテーマでした。

当日は一関消防署室根分署の菅原消防士長さんにもお越しいただき、実際に発煙させて実施しました。ほとんどの生徒は、口をハンカチや手でふさぎながら、低い姿勢で迅速に避難ができていました。講評の中で生徒に尋ねたところ、①放送を聞き、火元を避けた避難ルートをとった生徒が1/2、②友達・教職員から聞いて避難したのが1/3、③みんなが避難する方向について行ったのが若干名でした。菅原消防士長さんからは室中生は真剣に取り組み、素早く行動できており、大変すばらしかったとのお話をいただきました。



【生徒の感想紹介】

「校庭にいたときにこれからは状況次第でベルや放送が今回のように聞こえづらい場合もあるから、しっかり耳を傾けていきたいです。実際は校庭にそのままいたほうがいいことは知っていたので、判断して行動したいです。」 1年男子

「ちょうど火元の近くにいてびっくりして動けない状態だったけど、冷静に考えて避難することが出来たので良かったです。1回、教室に行って避難してしまったので、次は自分で判断して動いていきたいです。」 2年女子

「〇〇さんが教室にいる人にドアを閉めるように、電気を消すようにと、適切な判断が出来ていて、自分もすぐに判断ができるようにしようと思った。」 3年女子

☆3年生、租税教室で「税」について学ぶ

今回の衆議院選挙では消費税が大きな話題となっていますが、1月28日(水)に3年生の社会科の時間に租税教室を開催しました。当日は一関税務署総務課の瀬川直央さんを講師にお迎えし、税のしくみと大切さについて学ぶことが出来ました。公民の授業でちょうど税について学んだ直後だったので、具体的な説明に税に対して関心をかなり深めることができたようでした。最後に「1億円の重さ体験」ということで1億円分の札(紙)束が入ったアタッシュケースを持つ体験をさせてもらいましたが、あまりの重さに衝撃を感じていました。税のことを知る良い機会となったようです。

